

1. 活動概要

「地域医療・総合診療実践学寄附講座」は、平成27年度末に廃止された「地域医療システム学寄附講座」の後継として平成28年4月1日に設置され、本年度が最終年度となっていました。これまで3年間の実績に基づき、さらに延長されることになりました。

同講座は、これまでの医師循環システムに関する調査研究や地域医療実習教育に関する調査研究等の成果を踏まえ、「医学生や若手医師への卒前からの一貫した地域医療教育」「総合診療医の育成」「地域医療実践教育拠点の運営」など、地域医療を志す医師の養成を目指して、より実践的な取り組みを進めています。具体的には、熊本大学医学部医学科学生（熊本県医師修学資金貸与学生を含む。）や若手医師に対して、卒前からの一貫した地域医療教育を通じた、地域医療マインドの涵養に取り組んでいます。また、今後地域医療への貢献が期待される総合診療専門医の育成において、玉名と天草の医療機関に総合診療の教育拠点を設置するとともに、医師の不足する地域の医療機関に対して診療支援を行っています。

【主な内容】

- ① 地域医療支援（診療支援）
- ② 調査・研究
- ③ 教育活動
 - ・ 卒前教育（カリキュラム内教育）
 - ・ 卒後教育
 - ・ 初期臨床研修
 - ・ 専門研修
- ④ 指導医養成
- ⑤ 講演会

2. 年間活動実績

月	日	行事
4	13	天草教育拠点開所式
		第8回レジデントデイ
5	17	クリクラ⑪振り返り会
	18-19	第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
	5/31-6/1	熊本臨床研究ワークショップ
6	7	クリクラ⑫振り返り会
	28	クリクラ⑬振り返り会
7	13	第9回レジデントデイ
	19	クリクラ①振り返り会
8	16-17	夏季地域医療特別実習
	6	クリクラ②振り返り会
9	12	クリクラ⑮振り返り会
	12	第16回総合診療グランドラウンド
	27	クリクラ③振り返り会
10	18	クリクラ④振り返り会
	21	生涯教育研修セミナー
11	8	クリクラ⑤振り返り会
	29	クリクラ⑥振り返り会
12	20	クリクラ⑦振り返り会
	28	第10回レジデントデイ
1	24	クリクラ⑧振り返り会
2	14	クリクラ⑨振り返り会
3	6	クリクラ⑩振り返り会

3. 活動報告

I 地域医療支援（診療支援）

大学病院においては、「総合診療科」の外来診療を月曜日から金曜日まで実施し、専門診療科以外の受診を目的とした初診患者を中心に診療を行いました。また、大学病院の救急外来診療等も担当しました。

玉名教育拠点にては、「総合診療科」の外来および病棟診療を行いました。また同院の救急診療にも携わりました。その他の熊本県内の医師が不足している病院に対し、県からの要請に基づき、診療支援活動を行いました。

◆ 大学病院 総合診療外来

月	火	水	木	金
谷口	松井	高柳	佐土原	前田
			谷口（2019.9～ 2020.3 奇数週）	

◆ 学外診療支援

松井	2019.4～2020.3 公立玉名中央病院（週1回）
佐土原	2019.4～2020.3 阿蘇医療センター（週1回）
	2019.4～2020.3 そよう病院（週1回）
前田	2019.4～2020.3 上天草総合病院（奇数週、週1回）

II 調査・研究

◆ 地域医療実習教育に関する調査研究

医学科3年次学生に対する地域医療実習（早期臨床体験実習Ⅲ）については、今年度より各受入先施設の実習計画を学生に事前提供出来るよう、実習協力施設に対し実習計画調査表を送付し実習内容の調査を行いました。また、本年度から必修化された5・6年次学生に対する地域医療実習（クリニカルクラークシップ）に関しても、旧5年生の13ターム終了後に、実習協力先14施設に対し、実習に対するアンケートを行い、現状の把握及び更により良い実習となるよう調査・確認を行いました。

◆ 総合診療専門医普及に関する調査研究

「熊本大学総合診療専門研修プログラム」については、プログラムの変更申請に際し、プログラム内容の更新及び充実のため、研修内容、施設情報、指導医の有無の調査を行いました。また、総合診療専門医の特任指導医講習会の受講状況を調査し、これまで専攻医が研修した連携施設は講習会を受講済みもしくは本年度受講予定の指導医が在籍しており、総合診療専門医の研修施設の要件を満たしていることが分かりました。

◆ 医療機関の勤務環境に関する調査研究

県内の医療機関の勤務環境について、熊本県地域医療支援機構と連携して調査・研究を行いました。調査結果は医師修学資金貸与医師が勤務先を選択際の資料として活用することにしています。また、女性医師キャリア支援センターと連携して、子育てと仕事の両立等に関するアンケート調査を行い、活動の方向性について検討を行いました。

◆ 教育拠点に関する調査研究

玉名教育拠点については、拠点及び総合診療科が設置され3年経過し、これまでの取組みと成果について同病院で調査研究が行われ、当講座でも協力支援しました。天草地域医療センターに平成31年4月に設置した天草教育拠点については、熊大病院との連携課題についての調査を行いました。

◆ 教育活動

◆ 卒前教育（カリキュラム内教育）

地域医療システム学寄附講座を設置以来、これまでも医学科カリキュラムの実施に協力してきましたが、昨年度から、地域医療・総合診療実践学寄附講座として、医学科長からの正式な依頼に基づき、以下の実習および講義を行いました。なお、熊本県地域医療支援センターへの依頼があった講義（※）も、一緒に記載しています。

- | | | | | |
|-----|--|-----|---|---|
| 1年生 | <ul style="list-style-type: none"> 早期臨床体験実習Ⅰ 医学概論※ | 4年生 | <ul style="list-style-type: none"> 医療と社会Ⅰ 総合診療学 | <ul style="list-style-type: none"> 臨床実習入門 チュートリアル |
| 2年生 | <ul style="list-style-type: none"> 早期臨床体験実習Ⅱ 医学英語 | 5年生 | <ul style="list-style-type: none"> 特別臨床実習 | |
| 3年生 | <ul style="list-style-type: none"> 早期臨床体験実習Ⅲ 公衆衛生学 | 6年生 | <ul style="list-style-type: none"> 特別臨床実習 | |

行動科学Ⅰ		1年生
2019/7/1	谷口【コミュニケーション】	
2019/7/8	後藤【男女共同参画】	
2019/7/18	谷口・高野【喫煙と社会】	

現代社会と医学B		1年生
2018/7/12	谷口・田宮【地域中核病院から見た地域医療】	
2018/7/19	谷口・片岡【熊本県の地域医療について】	

医学英語		2年生
2019/11/6	佐土原【腫瘍医学】	
2019/11/13	小山【プライマリケア】	

早期臨床体験実習Ⅰ		1年生
2019/9/9	松井【オリエンテーション】	
2019/9/10 - 2019/9/13	松井【施設での実習】	
2019/9/26	松井【ECE1発表会1】	
2019/10/3	松井【ECE1発表会2】	

① 早期臨床体験実習Ⅰ・Ⅱ（ECE1・2）

早期臨床体験実習Ⅰは1学年を対象とし、Ⅱは2学年を対象として、5年前に改正された新カリキュラムに基づき必修科目として実施されているものであり、Ⅰは従来から実施していた「早期社会体験実習」の名称を変えて、またⅡは3年間の早期臨床体験実習の中間に位置付けているものである。

早期臨床体験実習Ⅰについては、臨床医学教育研究センターが実施責任者となり、当講座が協力する形で9月9日～13日の5日間に渡り実施された。初日の午前、大学において導入・オリエンテーションを実施し、その後県内の28施設（心身障害児（者）施設、慢性疾患療養施設、老人保健施設、特別養護老人ホーム、療養型病院等）で1年生116人が実習を行った。

また、実習後は、9月26日、10月3日の2回に分けてグループ毎に発表会を行った。

なお、2月27日～3月4日に実施予定だった早期臨床体験実習Ⅱについては、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

公衆衛生学		3年生
2019/6/28	中本【地域医療行政関係】	
2019/6/28	佐土原【その他の医療制度の現状と今後】	
2019/7/2	高杉【地域医療、特にへき地医療】	
2019/7/2	高柳【プライマリ・ケア関係】	

早期臨床体験実習Ⅲ		3年生
2019/11/29	高柳【オリエンテーション】	
2019/12/2	高柳【学外実習】	
2019/12/6		
2019/12/6	高柳【振り返りグループワーク】	

医療と社会Ⅰ		4年生
2019/5/15	後藤・蓮沼【男女共同参画】	
2019/5/27	谷口・高野【行動科学・禁煙】	
2019/6/19	谷口・下地【医療人類学】	

総合診療学		4年生
2019/4/16	谷口【医療のプロセスと医療面接総論】	
2019/4/17	谷口【医療面接各論1・2】	
2019/5/7	佐土原【身体診察概論】	
2019/5/14	田宮【臨床推論概論】	
2019/5/21	高杉【臨床推論演習1】	
2019/5/28	前田【臨床推論演習2】	
2019/6/4	鶴田【臨床推論演習3】	
2019/6/11	小山【臨床推論演習4】	
2019/6/18	松井【総合診療概論】	

チュートリアル実習		4年生
2019/10/9	谷口【Narrative-based Medicine】	
2019/10/10	谷口・清藤【物語医療】	

臨床実習入門		4年生
2019/9/4	谷口【医療面接】	
2019/9/9	谷口【医療面接】	
2019/9/11	前田【医療面接】	
2019/9/13	谷口【医療面接】	
2019/9/18	松井【医療面接】	

プレ臨床実習		4年生
2018/10/28	谷口【カルテの書き方】	

➤ 早期臨床体験実習Ⅲ 指導医ワークショップ

【日 時】2019年11月6日（水）、14日（木）

【場 所】熊本大学大学院生命科学研究部附属臨床
医学教育研究センター 奥窪記念ホール

【内 容】

- ・実習概要・目的について
- ・ログブック・評価について
- ・実習詳細について

② 早期臨床体験実習Ⅲ（ECEⅢ）

早期臨床体験実習Ⅲは、早期臨床体験実習Ⅰ

（1学年対象）及び早期臨床体験実習Ⅱ（2学年対象）に続く完結版として、また上位学年で実施される臨床実習への基礎入門編として3学年を対象に必修として実施されるものである。

平成26年度入学の学生から適用される新カリキュラムに基づき、当講座が実施している。

今年度は、12月2日～6日の5日間に渡り、県内の90医療機関の協力を得て、3年生全員（119人）が実習を行った。また、9月17日に学生オリエンテーション、実習前週金曜日（11月29日）の午後に導入を行い、週明け月曜日には朝から実習に携われるよう日程の見直しを行った。最終日6日の午後から振り返りを大学内において実施した。

また、実習実施に当たっては、11月6日及び14日の両日に分けて、実習受入施設の55施設の指導医及び担当事務60名を集め、FD講習会を開催して実習の指導徹底を図った。

今年度より学生が実習先の選定材料となるよう、事前に実習協力施設128施設に対し「実習計画調査票」の作成を依頼し、1週間の実習計画についての調査・聞き取りを行った。

授業の目的：診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師として最低限必要な医学知識、臨床推論、臨床判断・技能・態度などの能力を身につけることを目標とする。

授業の概要：

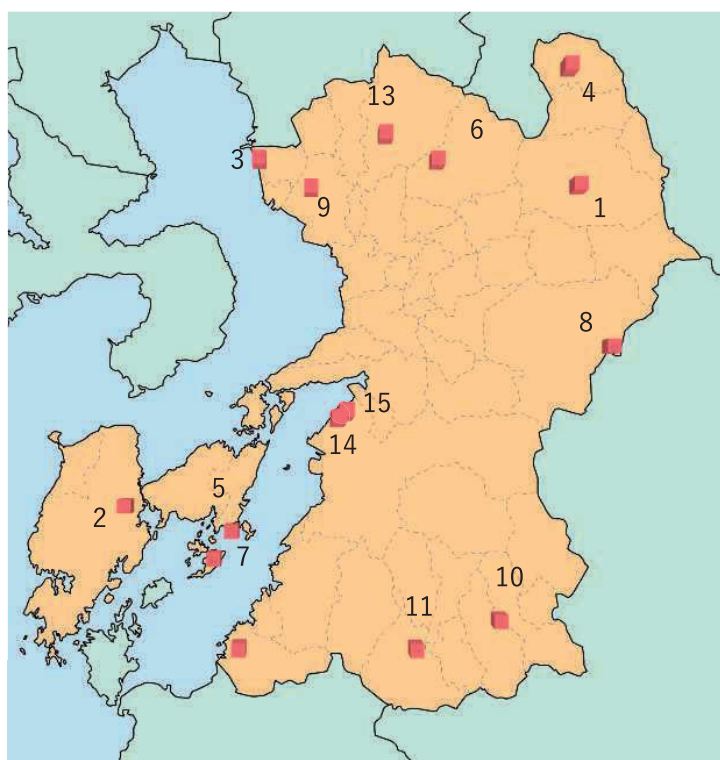
現在、5学年7月から6学年の9月までの全15ターム（1タームは3週間）で実施されている特別臨床実習(13タームまでは5年次の必須科目。14・15タームは6年次の選択科目)において、当講座は、平成26年度から地域医療を提供している。

➤ 各医療機関の特別臨床実習「地域医療」および「総合診療*」における学生受け入れ人数

No.	施設名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	累計
1	阿蘇医療センター	--	--	--	2	3	1	8	14
2	天草地域医療センター	--	--	--	5	5	12	13	35
3	荒尾市民病院	--	--	--	--	5	9	10	24
4	小国公立病院	4	8	9	3	6	4	4	38
5	上天草総合病院	3	10	13	4	0	2	6	38
6	菊池郡市医師会立病院	--	--	--	--	2	7	6	15
7	御所浦診療所	--	--	--	5	2	4	5	16
8	そよう病院	4	4	13	4	0	4	6	35
9	公立玉名中央病院	--	--	5	17	16	4*	15*	57
10	公立多良木病院	1	0	0	6	2	5	11	25
11	人吉医療センター	--	8	19	7	7	20	9	70
12	水俣市立総合医療センター	--	--	--	6	5	9	10	30
13	山鹿市民医療センター	--	--	--	--	5	8	11	24
14	熊本総合病院	--	--	--	--	--	7	13	20
15	熊本労災病院	--	--	--	--	--	10	11	21
	合計	12	30	59	59	58	106	138	462

◆ 特別臨床実習：地域医療

5学年夏から6学年秋までの全15ターム（1タームは3週間。13タームまでは5年次の必須科目。14・15タームは6年次の選択）で実施される特別臨床実習において、当講座は平成26年度から地域医療を提供しています。今年度は県内の14医療機関の協力を得て、7月から10タームを実施し、5年生79人に対し地域医療実習を提供しました。毎ターム最終金曜日の15時より、各施設で実習を行った学生を集めての振り返り会を行いました。また、4月には5学年のガイダンスにて学生向けの説明会を実施しました。



➤ 2019-2020年度 特別臨床実習「地域医療」の受け入れ人数

No.	実習受入先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
		2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2019	2020	2020	2020	2020	2020	
		7/1 7/19	8/19 9/6	9/9 9/27	9/30 10/18	10/21 11/8	11/11 11/29	12/2 12/20	1/6 1/24	1/27 2/14	2/17 3/6	4/20 5/15	5/18 6/5	6/8 6/26	
1	阿蘇医療センター	1			1						1			1	4
2	天草地域医療センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
3	荒尾市民病院			1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	10
4	小国公立病院	1			1						1			1	4
5	上天草総合病院			1		1				1	1	1	1		6
6	菊池郡市医師会立病院		1		1		1	1		1	1				6
7	御所浦診療所		1		1		1				1			1	5
8	そよう病院	1					1	1				1	1	1	6
9	公立多良木病院	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
10	人吉医療センター	1	1	1	1	1			1	1	1		1		9
11	水俣市立総合医療センター		1	1		1	1	1	1	1		1	1	1	10
12	山鹿市民医療センター	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	11
13	熊本総合病院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
14	熊本労災病院	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11
	合計	9	8	8	10	8	10	8	8	10	11	9	10	10	119

➤ 診療所・病院のスケジュール例

人吉医療センター					
	月	火	水	木	金
1 週目	<ul style="list-style-type: none"> ➤ オリエンテーション ➤ 総合診療、救急センター ➤ 総合診療 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ キャンサーボード ➤ 小児科 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ プライマリケアカンファレンス ➤ 病棟回診 ➤ 訪問看護 ➤ 訪問診療 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 五木村診療所 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 外科合同カンファレンス ➤ 総合診療 ➤ 救急センター ➤ 訪問診療 ➤ 訪問看護
2 週目	<ul style="list-style-type: none"> ➤ モーニングレクチャー ➤ ドクターズ会、病棟回診 ➤ 総合診療 ➤ 救急センター 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 五木村診療所 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ プライマリケアカンファレンス ➤ 病棟回診 ➤ 病棟回診 ➤ 選択診療科での実習 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ プライマリレクチャー ➤ 病棟回診 ➤ 選択診療科での実習 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 外科合同カンファレンス ➤ 訪問診療
3 週目	<ul style="list-style-type: none"> ➤ モーニングレクチャー ➤ ドクターズ会、病棟回診 ➤ 選択診療科での実習 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 五木村診療所 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ プライマリケアカンファレンス ➤ 病棟回診 ➤ 病棟回診 ➤ 総合診療・化学療法外来 ➤ 訪問看護またはリンパ浮腫外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ プライマリレクチャー ➤ 病棟回診 ➤ 選択診療科での実習 ➤ 総合診療・救急センター 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 外科合同カンファレンス ➤ 総合診療・救急センター ➤ まとめ

選択診療科：小児科、産婦人科、代謝内分泌内科（外来）、外科、整形外科、その他希望診療科

御所浦診療所					
	月	火	水	木	金
1週目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 眼科外来/総合診療外来 ➢ 総合診療外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ 船で横浦へ移動 ➢ 外来 ➢ 外来終了後に訪問診療 ➢ 御所浦島に帰島 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 整形外科外来/総合診療外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ 船で横浦へ移動 ➢ 外来 ➢ 外来終了後に訪問診療 ➢ 御所浦島に帰島 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ スタッフミーティング ➢ 総合診療外来/訪問診療 ➢ 振り返り・次週の予定確認
2週目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 眼科外来/総合診療外来 ➢ 総合診療外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ 船で横浦へ移動 ➢ 外来 ➢ 外来終了後に訪問診療 ➢ 御所浦島に帰島 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 整形外科外来/総合診療外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ 船で横浦へ移動 ➢ 外来 ➢ 外来終了後に訪問診療 ➢ 御所浦島に帰島 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ スタッフミーティング ➢ 総合診療外来/訪問診療 ➢ 振り返り・次週の予定確認
3週目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 眼科外来/総合診療外来 ➢ 総合診療外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ 船で横浦へ移動 ➢ 外来 ➢ 外来終了後に訪問診療 ➢ 御所浦島に帰島 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 整形外科外来/総合診療外来 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ 船で横浦へ移動 ➢ 外来 ➢ 外来終了後に訪問診療 ➢ 御所浦島に帰島 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 朝礼 ➢ 検査 ➢ 総合診療外来 ➢ スタッフミーティング ➢ 振り返り(個人で)その後総括

◆ 特別臨床実習：総合診療科

この実習は救急・総合診療部の実習ではなく、地域医療・総合診療実践学寄附講座として独立した「総合診療科」の実習となり、地域医療実習から離れた玉名教育拠点を中心に、3週間の選択実習を行いました。

今年度は、大学病院及び玉名教育拠点の2か所での合計18人の実習を提供しました。

公立玉名中央病院					
	月	火	水	木	金
1週目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー ➢ 病棟研修 ➢ 新患カンファレンス ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ モーニングレクチャー ➢ 訪問看護 ➢ 外来レビュー ➢ 多職種カンファレンス ➢ 病棟回診 ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ プライマリケアレクチャー ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 訪問診療or緩和ケア回診or病棟研修 ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー/各種講義 ➢ 病棟研修 ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 訪問診療 ➢ 病棟研修 ➢ 週間振り返り ➢ 自己研修
2週目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー ➢ 病棟研修 ➢ 新患カンファレンス ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ モーニングレクチャー ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー ➢ 多職種カンファレンス ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ プライマリケアレクチャー ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修or訪問看護 ➢ 訪問診療or緩和ケア回診or病棟研修 ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー/各種講義 ➢ 病棟研修 ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 訪問診療 ➢ 病棟研修 ➢ 週間振り返り ➢ 自己研修
3週目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー ➢ 病棟研修 ➢ 新患カンファレンス ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ モーニングレクチャー ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー ➢ 多職種カンファレンス ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ プライマリケアレクチャー ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 訪問診療or緩和ケア回診or病棟研修 ➢ 振り返り ➢ 自己研修 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 外来研修 ➢ 外来レビュー/各種講義 ➢ 病棟研修 ➢ ジャーナルクラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 病棟回診 ➢ 訪問診療 ➢ 週間振り返り ➢ 自己研修

◆ 卒後教育

① 初期臨床研修

熊本病院群初期臨床研修プログラムで総合診療科（大学病院）及び総合診療科（玉名拠点）を選択した初期臨床研修医 13人に対し、総合診療・地域医療に関する教育指導を行いました。

■ 令和元年度初期臨床研修受け入れ人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	研修受け入れ 総人数
熊本大学病院	1												1
公立玉名中央病院 / 玉名教育拠点						1	2	3	2	3	1		12

② 専門医研修

熊本大学地域医療支援・総合診療後期研修プログラムの3年目の専攻医1名に対し、教育指導を行いました。熊本大学総合診療専門研修プログラムでは、本年度研修を開始する専攻医はいませんでした。前年度研修を開始した専攻医6名が、県内の公的病院において昨年から引き続き研修を行いました。研修の支援・指導の充実を図るため、テレビ会議システムを活用し、毎月2回、症例検討を遠隔で指導するとともに、専攻医等の研究発表をテレビ会議システムを通じて各病院へ配信しました。また、年4回レジデントデイを開催し、専攻医の研修修了要件であるポートフォリオの作成指導などを行いました。本年度のプログラムへの応募状況は、専攻医が1名採用され、さらに他プログラムから専攻医が1名、熊本大学のプログラムに移籍しました。

➤ 熊本大学地域医療支援・総合診療後期研修プログラム（Ver.2）

当プログラムは、日本プライマリ・ケア連合学会認定の家庭医療後期研修プログラムです。

熊本大学医学部附属病院を中心として、熊本県内の様々な医療施設の協力のもと、オール熊本として、総合診療専門医の育成に取り組むプログラムです。研修施設には、大学病院や地域中核病院に加え、小規模病院等も含まれ、県庁所在地である熊本市内のみならず、県内の各二次医療圏に研修施設があります。大学病院は、県内唯一の高度先進医療、特定機能病院であります。総合診療研修としてはアカデミックなトレーニングが可能です。また各専門診療科では、高度な先進性にも触れながらの研修が可能になっています。地域医療では、政令指定都市でハイボリュームの救急医療を行なう総合病院から、地域中核病院、僻地中核病院～診療所など、バラエティに飛んだ医療施設、地域での研修が、可能になっています。これらの施設がプログラムに参加することにより、異なる特性の施設で地域に根付いた研修を行う事ができ、本人の希望に応じた研修が可能です。

尚、日本専門医機構による新専門医制度への移行に伴い、令和元年度末に廃止される予定です。

➤ 熊本大学総合診療専門研修プログラム

当プログラムは、日本専門医機構認定の総合診療医後期研修プログラムです。

熊本大学医学部附属病院を中心として、熊本県内全域に広がる様々な医療施設の協力のもと、オール熊本として、総合診療専門医の育成に取り組むプログラムです。研修施設には、大学病院や地域中核病院に加え、小規模病院等も含まれ、県庁所在地である熊本市内のみならず、県内の各二次医療圏に研修施設があります。

県内全域に広がる多くの施設がプログラムに参加することにより、異なる特性を持つ施設で、その地域に根付いた研修を行うことができ、本人の希望に応じた研修が可能となっています。また、熊本県医師修学資金貸与の熊本大学卒業生（地域枠入学者を含む）や、熊本県出身の自治医科大卒業生に対し、総合診療専門医としてのキャリア形成支援に寄与することも目指しています。

■ 研修プログラム

プログラム期間は原則として3年間で、総合診療専門研修、必修の領域別研修、その他の領域別研修で構成されます。その他の領域別研修は自分のキャリアに合わせて自由に調整可能です。

総合診療研修	総合診療Ⅰ（診療所・中小病院）	6ヶ月以上	合計 18ヶ月以上
	総合診療Ⅱ（病院総合診療部門）	6ヶ月以上	
領域別研修（必修）	内科	12ヶ月以上	
	小児科	3ヶ月以上	
	救急科	3ヶ月以上	
選択科研修	皮膚科、整形外科、精神科、etc…	希望に応じて	

総合診療研修・必修領域研修機関一覧▼

総合診療Ⅰ	阿蘇医療センター	小国公立病院	内科	人吉医療センター	くまもと森都総合病院	
	河浦病院	栖本病院		熊本総合病院	天草地域医療センター	
	そよう病院	公立多良木病院		熊本赤十字病院	公立玉名中央病院	
	新和病院	沢田内科医院		阿蘇医療センター	天草地域医療センター	
	安成医院	御所浦診療所		人吉医療センター	公立玉名中央病院	
総合診療Ⅱ	椎原診療所	湯島へき地診療所	小児科	熊本大学病院	熊本医療センター	
	熊本大学病院	熊本医療センター		人吉医療センター	公立玉名中央病院	
	公立玉名中央病院	天草地域医療センター		救急科	熊本大学病院	熊本医療センター
	上天草市立総合病院	水俣市立総合医療センター			人吉医療センター	公立玉名中央病院
	人吉医療センター					

■ 研修プログラムのスケジュール例

1. 熊本県医師就学資金貸与医師キャリア形成プログラム

① 総合診療コース（例）

卒後（年目）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
① 勤務先の種別	基幹型臨床研修病院		第1グループ		第2グループ	第2グループ	第2又は第3グループ		後期研修（義務内）	義務年限終了
② 勤務（研修）先医療機関候補	臨床研修 県内の基幹型臨床研修病院		専門研修 ・公立玉名中央病院 ・人吉医療センター ・熊本総合病院 ・天草地域医療センター			第2グループの医療機関 ・阿蘇医療センター ・小国公立病院 ・そよう病院 ・公立多良木病院 ・上天草総合病院 ・河浦病院 ・新和病院 ・栖本病院	第2又は第3グループの医療機関		県内の医療機関	
③ 義務償還期間（年）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	—

【備考（総合診療）】

- 第1～3グループ、後期研修（義務内）の順序は入れ替え可能です。
- 第2、3グループの医療機関での勤務期間においては、専門性の向上などを目的として、週1日、勤務先以外の医療機関で研修を行うことが可能です。
- 研修先及び勤務先は、県内の各地域における医師不足状況等を踏まえ、県及び地域医療支援機構において調整した後、熊本県地域医療対策協議会で協議、決定します。

2. 本年度研修修了した専攻医の研修実績

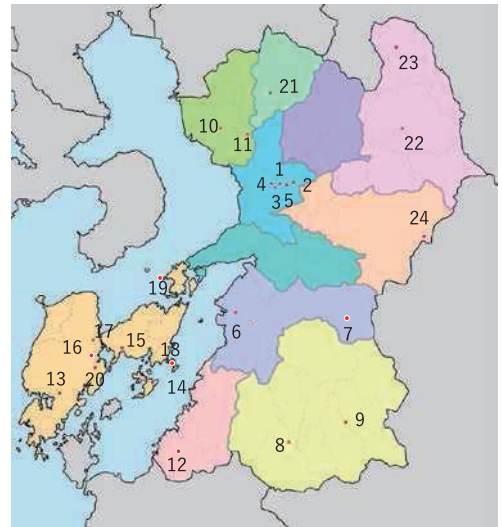
(※ 家庭医療後期研修プログラムVer.2に則ったスケジュール)

総合診療Ⅰ (6ヶ月) 総合診療Ⅱ (6ヶ月) 内科 (12ヶ月) 小児科 (3ヶ月) 救急科 (3ヶ月) 選択科 (合計6ヶ月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	公立玉名中央病院 総合診療Ⅱ (総合Ⅱの研修と並行して週1日の救急研修)											
2年目	公立玉名中央病院 糖代内科	公立玉名中央病院 皮膚科	公立玉名中央病院 整形外科	公立玉名中央病院 循環器内科	公立玉名中央病院 小児科				公立玉名中央病院 消化器内科			
3年目	公立小国病院 総合診療Ⅰ											

■ 研修施設一覧 令和元年度

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 くまもと森都総合病院 | 13 河浦病院 |
| 2 熊本赤十字病院 | 14 御所浦診療所 |
| 3 熊本大学医学部附属病院 | 15 栖本病院 |
| 4 熊本医療センター | 16 天草地域医療センター |
| 5 沢田内科医院 | 17 天草中央総合病院 |
| 6 熊本総合病院 | 18 上天草総合病院 |
| 7 八代市立椎原診療所 | 19 湯島へき地診療所 |
| 8 人吉医療センター | 20 新和病院 |
| 9 公立多良木病院 | 21 山鹿市民医療センター |
| 10 公立玉名中央病院 | 22 阿蘇医療センター |
| 11 安成医院 | 23 小国公立病院 |
| 12 水俣市立総合医療センター | 24 そよう病院 |



■ 研修医の声

● (専攻医3年目 松田 圭史)

今年度は地域医療・総合診療後期研修の3年目の年になりますが、小国公立病院で研修を行いました。小国公立病院での診療はまさに地域医療であり、人手は不足し、設備も十分とは言えず、大変な面もありますが、あるものを駆使し、様々な職種と連携しながら最良の医療を提供しようとするのはやりがいを感じることもありました。また、これまでは病院での診療がメインでしたが、町全体の医療福祉に関する事業（在宅医療サポートセンター、糖尿病啓発イベント、在宅看取りフォーラム、など）の企画・運営に携わることができたことも大きな経験となりました。来年度には家庭医療専門医を取得する予定ですので、今後は専門医として地域医療に貢献できるよう精進していきたいと思います。

● (専攻医2年目 北村 泰斗)

本年度は、小児科3か月、循環器科3か月、総合内科6か月のメニューでローテート致しました。初期研修医の際にも、小児科・循環器科はローテートしておりますが、その頃は基本的業務の習得に必死で、科ごとの専門的な部分での技術や知識の習得はそれほどであったと思います。専攻医（卒後4年目）であらためてローテートしてみると、少し各科の専門性に目を向ける余裕もでき、自分のめしのたねとして、いろいろのことを吸収できた気が致します。そういう意味で、総合診療医をめざす立場と致しましては、後期研修医として各科を再度ローテートすることに大きな意義を感じます。年々みえる景色も変わってきて、少しずつ俯瞰的にものをみる時間も増えてきた気が致しますが、上級医の先生をみながら自分の医師像を模索し、研修医と接しながら自分の立ち位置を日々確認する毎日です。

● (専攻医2年目 久保崎 順子)

私は、2018年度に熊本大学病院 総合診療専門研修プログラム専攻医となり、プログラムの一環として2018年度は公立玉名中央病院の総合診療科で勤務し、2019年度は他の科での研修を行いました。総合診療科としては、診断が付いた後は各専門科に依頼することも多いため、こういった治療が専門領域でなされているかを知っておくことは、他科とのスムーズな連携をとる上で必要なことだと感じていたため、小児科、内科（循環器、消化器、代謝内科など）、外科（整形外科、皮膚科）と自分が深めたいと思った科を選び、一つの科に出来るだけ長い期間ローテート出来るように予定を組みました。総合診療科での1年を経て改めて他科の診療に携わることは、研修医の時にローテートした時よりも経験や疑問が蓄積していたため、より有意義な勉強期間となりました。とりわけ、外科での研修は印象的でした。というのも、研修医までは内科を志望しており外科は最低限しかローテートせず、特に整形外科や皮膚科の外来、手術は学生以来全く見ていなかったためです。総合診療科に入ると、全ての科に関わりが出来ますが、とくに高齢化のより進んだ地方においては、高齢者の骨折をはじめとした整形外科疾患は絶対に避けて通れないものであるため、より知識を深める必要があると感じていました。今回、整形外科の視点から、診断から手術、術後のリハビリまで全てを見ることができ、治療技術の進歩、手術による回復の素晴らしさを実感するとともに、手術の難しい例や、合併症なども経験し非常に勉強になりました。

これまで2年間、公立玉名中央病院で、総合診療科およびその他の内科、外科の皆様に変えてお世話になりました。2020年度は日赤病院の総合内科に半年、その後は玉東町の安成医院で研修をさせていただきます。新しい環境に不安と楽しみとが入り混じっていますが、いい意味で心の余裕を失わず、医師として人間として成長していきたいと思います。

● (専攻医2年目 空田 健一)

総合診療科の専攻医2年目のプログラムとして、天草地域医療センターに来て住んでみると想像していた以上に働く環境も自然の環境もよいところでした。各先生方より適切なご指導をいただくことができ、不安を感じる場面は少なくなってきました。温泉は玉名のほうがよかったです。天草の食事と海をとて気に入ったので、今後は天草地域で暮らしていきたいです。今後も皆さまに信頼していただける医師を目指し、しっかりと勉強していきます。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

● (専攻医2年目 永田 洋介)

今年度は専攻医2年目として、そよう病院総合診療科の研修を行いました。救急外来から慢性疾患の外来管理、訪問診療、時には高次医療機関との連携を取りながら専門性の高い治療を継続したりと幅広い経験をしました。地域で暮らす方々の健康を管理することはまさに総合診療そのもので、患者さんの社会的背景も含めて多面的に考えることの重要性を改めて学びました。昨年に引き続きテレビ会議システムを利用し診療上の疑問点を解決したり、カンファレンスを通じて診療精度を高めたりと、十分なサポートの元仕事に従事することが出来ました。また、研修日を利用し、上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡の手技を身につけ地域医療に従事しながらも高度医療や各科専門医による治療も同時に学ぶことが出来ました。今後も引き続き日々成長出来るように充実した研修を続けたいと思います。

● (専攻医2年目 早川 香菜美)

専攻医2年目になり、現在は天草の河浦病院で勤務しています。外来、病棟、訪問診療と多岐にわたり診療に携わらせていただいています。

今特に力を入れていることは、保健・福祉との連携事業です。2019年4月に保健・福祉との連携事業を立ち上げ、運営委員の一人として関わらせていただいています。それぞれの事業所がどのような仕事をしているのか、どんな人たちが働いているのかから始め、互いの得意分野を生かしながら協力して河浦町をより良い町にするための活動を行っています。また、天草市でも多職種共同のボランティア団体を立ち上げ、そちらにも初期メンバーとして関わらせていただいています。どちらの活動もまだ活動を始めたばかりで手探り状態ですが、今後もこれらの事業に携わっていきたくと思っています。

まだまだ未熟であり、他先生方やコメディカルの方、地域住民の方々に支えられながら日々診療を行っています。そんな方々に恩返しができるように自分にできる限りのことをやっていきたいと思っています。

● (専攻医2年目 平賀 円)

2019年1月是人吉医療センター、2月以降は公立玉名中央病院でお世話になりました。病院によって特色や地域性は違うのは当然ですが、救急外来にいとそういった違いを肌で感じる事ができ、玉名の夜間はややコンビニ受診が多い印象でした。初めの7ヶ月間を総合診療科、その後に整形外科、皮膚科、循環器内科と研修させていただきました。玉名には総合診療科を回る研修医が多く、今振り返れば、彼ら彼女らに「教える」ということが今年一番の課題だったかと想います。4月には腰椎穿刺の手技経験が全く足りていないことをO山先生に表情だけでばれてしまい、緊張の中穿刺を行ったことは良い思い出です。そんな玉名中央病院では、後輩に教えられるように自らが勉強する大事さを学びました。

また、定期的に飯塚病院に赴き、Resident As Teachers (RATs) という勉強会に参加させていただいたことも大きな糧となりました。研修医へのフィードバックや効率的なレクチャーなど理論的に教育というものを学ぶ機会になりましたし、専攻医らの意識の高さも感じ取ることができました。

PC学会では「学生の地域臨床実習」をテーマにポスター発表しましたが、RATsも含めて、今後もそのようなテーマを自分なりに勉強していきたいなと思う今日この頃です。

来年度もよろしくお願いいたします。(別件ですが、8月に第一子が誕生したこともここでご報告させていただきます。)

IV 指導医養成

▶ 熊本大学総合診療指導医養成プログラム

■ プログラムの概要

このプログラムは、熊本大学が提供する独自の指導医養成プログラムになります。大学という教育・研究機関が提供するプログラムである特色を活かして、個別のニーズに合わせて総合診療・家庭医療の臨床経験だけでなくアカデミックなキャリアも積むことができることが特徴です。内容は専門医を取得してから最初の専門医更新までの5年間の教育に特化しており、主に卒後5年目から卒後12年目の若手医師を対象にしたプログラムです。更には、医学生から専攻医までの様々な世代への教育の経験ができ、連携機関も県内多数に存在するため、多彩な診療能力をニーズに応じて学ぶことができます。

また、指導医の資格を取得後の様々なキャリアに即し、特にSpecial Interestを深められるように自由選択性の研修を2年ほど取り入れています。Special Interestの領域については、各人の興味のある分野をさらに伸ばせるよう熊本県内の医療機関で研修が開始できるように熊本大学が全面的にバックアップしていきます。





■ プログラムの対象者

1. 専門医機構における総合診療研修の指導医条件に該当する、または平成31年度から該当となる予定の方
2. 卒後5年目～卒後12年目の方

■ 研修期間（5年間）

1. 指導医養成基盤研修（3年ほど）
 - 総合診療研修施設（病院総合医・家庭医）での指導医研修
 - 1年程度の大学教員（医員待遇）研修
2. 自由選択制研修（2年ほど）
 - 個別のニーズに合わせて選択式の研修
 - Special Interest研修
例）各種専門研修、開業・開業準備、留学等
各専門研修には、例えば、救急や緩和医療、在宅医療、などを準備しています。

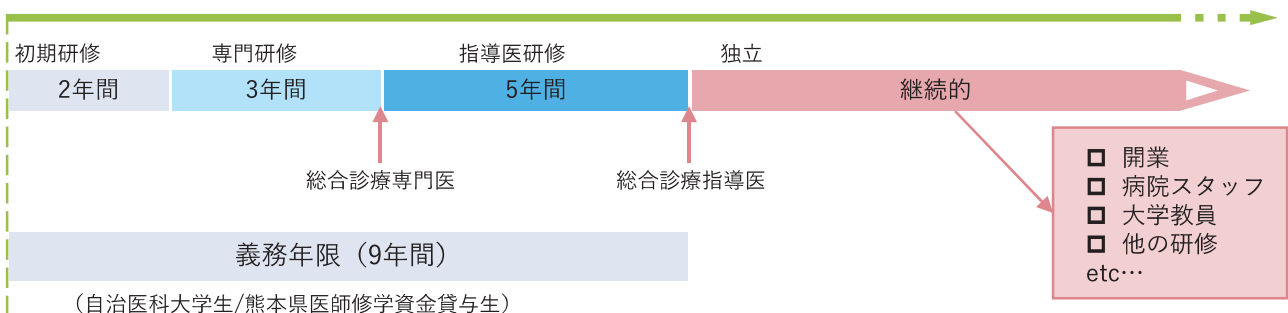
■ 一般目標

 <p>臨床能力</p> <ul style="list-style-type: none"> • 理論の実践と深化 • 包括的診療能力の向上 • ニーズに応じた経験 	 <p>教育能力</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教育理論の実践 • カリキュラムの作成
 <p>管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> • 診療科の管理・運営 • 専攻医研修プログラムの管理・運営 	 <p>研究</p> <ul style="list-style-type: none"> • 研究プロトコルの立案 • 研究論文執筆

■ 研修後のキャリアについて

指導医養成プログラムでは、世界水準の質の高い指導医を1つのゴールとして、総合診療の指導医習得および、家庭医・病院総合医としてのBrushUP、Special Interestの選択（専門医機構の今後の動向に合わせ検討）など、有意義な経験を積んでいただければと思っています。もちろん、指導医になることがゴールではなく、指導医習得後も更なるキャリア形成の機会を提供したくと思っています。具体的には、指導医として地域医療従事、国内外の留学、大学院への進学、大学教員、開業（新規・継承）などがあると考えています。

また、このプログラムは、県の医師就学資金貸与制度や自治医大の卒後研修など、9年間の義務年限がある方々にとっても義務の研修を実施しながら、キャリア形成が可能で、義務終了後の次のキャリアにも結びつけることができる研修であるのも特徴です。



講演会

主催

熊本臨床研究ワークショップ
2019年5月31日金曜～6月1日土曜
兵庫医科大学臨床疫学 教授 森本 剛 先生



熊本臨床研究ワークショップ

このワークショップのゴール
臨床研究の計画書の作成からデータマネジメント、統計解析、報告までの一連の流れを講師やユーザーの支援のもとでシミュレーションします。
様々な専門領域の臨床研究を深く実践した講師が研究デザインから統計解析までの講義と実習を一体化することで、チームベースの臨床研究を加速し得る貴重な実践的スキルを身につけることができます。

日時 2019/5/31(金) 9:00 → 2019/6/1(土) 12:00
来二泊二日のワークショップです。

場所 熊本大学病院 山崎記念館1F 研修ホール

講師 森本 剛 先生 兵庫医科大学臨床疫学教授
臨床疫学としての視点をもった研究デザインや統計解析、論文執筆の
人気は高く、全国各地で実践的な臨床研究教育を行っています。

定員 20名 応募者多数の場合は、抽選りする場合がございます。ご了承ください。

参加費 無料 旅費等代金として別途3,000円を予定しております。

参加資格 臨床研究に関わる医師

申し込み 締切 2019/4/21
※下記QRコードもしくはURL先の申し込みフォームよりお申し込みください。

持参品
・ノートパソコン ※最新OSをインストール済み。
・ACアダプターやマウス ※毎
※長時間の作業となります。

これまでの参加者
✓ 臨床研究に興味があるけど何から手をつけていいかわからない
✓ 自己流で臨床研究をやったけど正しいのかどうかわからない
✓ これまで臨床研究論文を書いたけど、なかなか国際誌に掲載されない
✓ 臨床研究をやりたくない部下・学生に教えたいようにならない

主催 熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座

熊本大学臨床研究ワークショップ申し込みフォーム
URL: <https://forms.gle/AMHLU6msURN3h8e6> 詳細はプログラムの
詳細があります

プログラムスケジュール

2019/5/31 (金)				
時間	形式	内容	所要時間	
9:10 - 9:40	-	受付	0:30	
9:40 - 10:00	-	開会式・オリエンテーション	0:20	
10:00 - 10:40	講義I	臨床研究デザイン	0:40	
10:40 - 11:50	グループワークI	臨床研究計画 全体報告	1:10	
11:50 - 12:10	ハンズオンI	統計解析ソフト導入	0:20	
12:10 - 13:10	-	昼食	1:00	
13:10 - 13:40	講義II	統計解析の原則・記述統計	0:30	
13:40 - 14:10	ハンズオンII	記述統計実習	0:30	
14:10 - 14:40	講義III	単変量解析の構造	0:30	
14:40 - 15:10	ハンズオンIII	単変量解析実習	0:30	
15:10 - 15:30	-	休憩	0:20	
15:30 - 18:30	グループワークII	研究計画書作成	3:00	
18:30 - 20:30	-	情報交換会・夕食	2:00	

2019/6/1 (土)				
時間	形式	内容	所要時間	
9:00 - 9:30	講義IV	統計解析レビュー	0:30	
9:30 - 10:15	グループワークIII	データ解析実習・図表作成	0:45	
10:15 - 10:30	-	休憩	0:15	
10:30 - 11:45	発表と討論	研究計画書・解析結果報告各グループ15分発表 発表表についてのディスカッション10分	1:15	
11:45 - 12:00	プレナリー	ラップアップ・閉会式・受講証授与	0:15	

地域に埋もれている重要な情報から臨床研究を介してエビデンスを構築することで、地域医療に従事しながらキャリア形成に繋げ、さらには医師就学資金貸与医師や自治医科大卒医師の県内定着を促すため、5月31日(金)～6月1日(土)に17人の参加者を得て、左記のとおり熊本大学病院山崎記念館で熊本臨床研究ワークショップを開催しました。

主催 第16回地域医療・総合診療グランドラウンド

「ニュージーランド臨床留学を通して見えたもの～ニュージーランドのGPとの関わり～」
2019年9月12日木曜 18:00～19:00

第16回 地域医療・総合診療グランドラウンド

NZJGP

ニュージーランド臨床留学を通して見えたもの
～ニュージーランドのGPとの関わり～

今回、ニュージーランド(NZ)で心臓血管外科医として活躍する月岡祐介先生にNZの地域医療や同国の総合診療医(GP: General Practitioner)について、彼が現場でどのように活躍/キャリア形成しているのか、そして彼らがかつどのように心臓血管外科医と関わっているのか、現場の医師の視点で生の声から学ぶ。

主催 熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座
日時 2019年9月12日(木) 18:00～19:00
場所 熊本大学病院 山崎記念館
対象 海外の地域医療に興味のある学生、
「総合診療専門医研修プログラム」研修中の医師、協力指導医、
「初期臨床研修プログラム」研修中の初期研修医、熊本大学病院 医師等
講師 月岡 祐介 先生
元オークランドシティ病院 心臓胸部外科 臨床フェロー (移植医療担当医)

問い合わせ先: 熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座
Tel: 096-373-5627 E-mail: chikiki-kyo@kumamoto-u.ac.jp

元オークランドシティ病院
心臓胸部外科 臨床フェロー
月岡 祐介 先生



第16回地域医療・総合診療グランドラウンドのテーマは、「ニュージーランド臨床留学を通して見えたもの--ニュージーランドのGPとの関り--」です。

2019年9月12日(木) 18時～ 熊本大学病院の山崎記念館にて開催いたしました。

元オークランドシティ病院 心臓胸部外科 臨床フェローの月岡祐介先生に、ニュージーランドでのGP (General Practitioner) の役割や必要性、海外で医師として働くために必要なことなどをご講演いただきました。

また今回は初の試みで、セミナーの様子をTV会議システムを使って、公立玉名中央病院、天草地域医療センター、阿蘇医療センターへ中継いたしました。質疑応答では各施設から質問をいただき、活発な意見交換が行われました。



その他

表彰

松井教授、谷口准教授、高柳助教が、熊本大学医学部医学科における特別臨床実習(クリニカル・クラークシップ)での地域医療の学修促進と学修成果獲得へ多大な貢献をしたということで、令和元年度熊本大学教育活動において学長より表彰されました。